

国際日本学研究科

「日本社会・産業システム研究領域」の紹介



日本社会・産業システム研究領域

近年、ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)を筆頭とするデジタルテクノロジーの革新と進歩によって、人々の暮らしは大きく変わっています。そしてまた、企業活動はますます高度化・複雑化し、社会の仕組みも多様化の様相を呈しています。この研究領域では、日本における消費行動や企業活動、産業構造、そしてその総体としての社会システムのダイナミズム、すなわちその変化や動態を研究します。より具体的には組織の在り方と企業文化、日本的経営やものづくり、日本的流通システム、広告、情報産業およびクリエイティブ産業などを対象として、実践的・理論的な諸問題を考察します。

この研究領域では、

(1)自動車産業に代表される世界的にも際立つ日本企業の独自の経営方式やものづくりシステム、そしてデジタル技術の発展が日本企業や産業、社会に与える影響について、国際比較の観点で調査・研究する。

(2) 日本的な流通システムの発展や今日的な課題について、国際比較の視点を持ちながら、歴史的なアプローチで調査・研究する

という2つを主な課題としています。

企業・メディア・コンテンツの特質・問題点を探求

- 戦後、日本は産業・企業における独自のシステムを創り上げ、世界に発信
 - ・ トヨタ生産システム、コンビニエンス・システム、宅急便システムなど
- 1990年代のバブル崩壊以降、日本の産業や企業は大きな変革の時代に突入
 - ・ 人口減少など社会構造の変化、国際化の時代への突入
 - ・ ICT、AIの進歩による第4次産業革命の時代
 - これらは日本の社会・産業・企業への甚大な影響

- この研究領域の研究

- (1)自動車産業に代表される世界的にも際立つ日本企業・産業の独自システム

- 日本企業の経営方式、ものづくりシステム（開発や生産）、デジタルものづくり、デジタルマーケティング

- (2)日本のマーケティング・流通システムの構造

- 日本の流通産業の構造変化、欧米の外資購買行動の日本市場への進出、日本小売企業の国際市場への進出と成長



担当教員の研究分野



呉在烜 Oh Jewheon



日本企業の国際競争力研究

技術・生産・販売管理、人事労務管理、国際経営・国際比較研究、デジタルものづくりやマーケティングなど

戸田裕美子 Yumiko Toda



日本流通システムの歴史的研究

日本における流通構造の変化、小売企業のマーケティング戦略研究、流通革命論の国際比較研究など



指導可能な研究領域



吳在烜

Oh Jewheon

- 日本的ものづくりシステム（開発・生産）の研究
- 日本企業の経営方式や人事管理システムの研究
- 日本企業の国際化と国際経営の研究
- デジタルものづくりやデジタルマーケティングの研究など

戸田裕美子

Yumiko Toda

- 日本的な流通システムの歴史的研究
- 流通構造の国際比較研究
- 小売企業のグローバル展開とマーケティング戦略
- 流通・マーケティング研究における実践史および学説史研究





これまで指導した修士論文, 今後指導可能な修士論文例



吳在烜

Oh Jewheon

- 日本のコンビニエンスストア・システムに関する研究—セブンプレミアムの開発・生産を中心に—
- 日本の食品企業のグローバル経営に関する研究—AJINOMOTOとKIKKOMANの事例を中心に—
- 中国における日本型自動車流通システム—ディーラー・システムを中心として—
- ワーク・ライフ・バランスにおける日本企業の雇用システムの現状と課題
- 日本企業の海外M&Aの成否要因に関する考察

戸田裕美子 Yumiko Toda

(前任校での指導実績)

- ファミリーレストランにおける顧客満足度に関する研究
- The impact of customer engagement in social media marketing of luxury brands on business performance
- 中国市場における日本の化粧品会社のインフルエンサー戦略に関する研究